

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1086	(H.24)No.	1086
-----------	------	-----------	------

事務事業名	ごみゼロ・リサイクル推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
生活環境部	環境対策室	名和健治	

会計区分	事業コード	271501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	衛生費	ごみゼロ・リサイクル推進事業
項	清掃費	(小事業名)
目	ごみ対策費	ごみゼロ・リサイクル推進事業

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2	循環型社会の創造
	施策	2	ごみの減量化とリサイクル
	小施策	1	ごみの減量化
重点施策コード	4-1.資源循環型社会の構築(廃棄物の減量・資源化の推進)		

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
環境と共生する資源循環型社会を目指し、ごみの減量化、資源化の促進に向けた啓発等を実施することにより、真のごみゼロ社会を構築する。
事業内容
・ごみの分別、減量化に向けた啓発の実施 ・ごみ分別ガイドブックの作成や外国人向け日程表の作成 ・紙おむつ専用ごみ袋の購入とボランティア専用ごみ袋の作成、配布

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語版日程表翻訳 148千円(年2回)</li> <li>・ごみの啓発品等購入 86千円(マグネット等消耗品)</li> <li>・紙おむつ専用袋購入(20L袋275,000枚) 7,700千円</li> <li>・生活保護世帯用ごみ袋購入(20L袋13,500枚) 378千円</li> <li>・ボランティア袋作成 200千円(特大袋20,000枚)</li> <li>・資源ごみ看板作成 299千円(看板30枚、支柱15本)</li> <li>・資源化機械修繕料 124千円(チャパ-車・貸出破砕機カッター)</li> <li>・3Rポスター応募報償 10千円(蛍光ペン124名分)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語版日程表翻訳 189千円(年2回)</li> <li>・ごみの啓発品等購入 71千円(啓発物品、消耗品等)</li> <li>・紙おむつ専用袋購入(20L袋約275,000枚) 7,700千円</li> <li>・生活保護世帯用ごみ袋購入(20L袋約13,500枚) 378千円</li> <li>・ボランティア袋作成 95千円</li> <li>・ガイドブック印刷製本費 180千円(2,000冊)</li> <li>・資源化機械修繕料 290千円(チャパ-車・貸出破砕機カッター)</li> <li>・3Rポスター応募報償 21千円</li> </ul>

H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別啓発</li> <li>・外国語版日程表翻訳</li> <li>・紙おむつ専用袋等購入</li> <li>・ボランティア袋等作成</li> <li>・資源化機械等修繕料など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別啓発</li> <li>・外国語版日程表翻訳</li> <li>・紙おむつ専用袋等購入</li> <li>・ボランティア袋等作成</li> <li>・資源化機械等修繕料など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別啓発</li> <li>・外国語版日程表翻訳</li> <li>・紙おむつ専用袋等購入</li> <li>・ボランティア袋等作成</li> <li>・資源化機械等修繕料など</li> </ul>

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	8,945千円	8,924千円	9,700千円	9,800千円	9,900千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他(使用料)		H25.7.9誤記訂正 48			
一般財源	(0) 8,945	8,876 8,924	9,700	9,800	9,900
人員					
職員	0.65人	0.65人	0.65人	0.65人	0.65人
臨時職員等	0.25人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
概算人件費	(0千円) 5,430千円	5,175千円	5,175千円	5,175千円	5,175千円
+ 総事業費	(0千円) 14,375千円	14,099千円	14,875千円	14,975千円	15,075千円

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
ごみゼロ社会を目指すアクションプログラムの改訂作業に取り組み、平成20年4月より導入した家庭ごみ有料化は、価格を比較的高く設定したことをごみ量が大きく減少し、5年が経過した現在も減量効果が持続しており、市民の減量化、資源化意識の定着が図れたと推測される。このことから、ごみ減量化に協力をいただいた市民への還元の見地から指定ごみ袋の価格を引下げを検討した	平成25年10月より、指定ごみ袋の価格の約20%引下げ実施に向けてスムーズな移行ができるよう、啓発を進める必要がある。指定ごみ袋の価格が下がっても、ごみが増えないように、第四次ごみゼロ社会を目指すアクションプログラムに基づき、一層のごみ減量、資源化の啓発と施策を展開する。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	ごみの減量化に成果を上げるとともに、学校、地域等に出向いて環境学習会等によるごみ減量化、資源化の啓発を行っている。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(実践内容を記載)	地域づくり組織、学校、市民活動団体とごみや環境の対策について連携を図っている。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に係る主な市の計画
紙おむつ専用ごみ袋の出先へ配達、庁舎外倉庫の管理等について、事務の効率性が低下するので業務効率と目的の両面から所掌事務の見直し等が必要である。	ごみゼロ社会を目指すアクションプログラム、快適環境プラン